

別子山公民館 令和5年6月号

地域文化の継承事業「ぼたもち作り」 令和5年度 地域教育力向上プロジェクト推進事業

昨年度後半から始めました地域文化の伝承活動では、別子山地域で古くから行われてきた「こんにゃく作り」や「とうふ作り」を再現していただきましたが、今年度もまずは、「ぼたもち（おはぎ）」作りを別子山地域で古くから使われてきた手法で、地域の皆さんに再現していただきました。

まずは、「おはぎ」と「ぼたもち」についてどういう違いがあるのか調べて見ましたが？実際の所どちらとも同じもので、形態的には全く変わりなく、春に食べるものを「ぼたもち」といい、秋に食べるものを「おはぎ」といい、日本の食文化の中で自然の恵みを受けたものを食する場合に、その食べ物に季節感を感じる呼び名を用いるということがあり、この場合だと、春の花である「牡丹」から「ぼたもち」といわれるようになり、秋には「萩」の花から「おはぎ」といわれるようになったようです。

そして、日本において小豆は縄文時代の古墳から発見されるくらい古くから、生活に欠かせない食品で、古来「赤色」には「魔除け」の力があるといわれており、小豆は祝の席や儀式の際にはお赤飯や砂糖をまぜて「あんこ」にして捧げられてきました。

その習慣から、お彼岸ではお餅には「五穀豊穡」を、小豆には「魔除け」の意味を込めて「ぼたもち」や「おはぎ」にしてご先祖さまへの感謝と家族の健康を願って墓前やお仏壇にお供えするようになったとされています。

今回再現できた「ぼたもち」はあんこが大好きな私にとって最高の贈り物になりました。

今後もこの様に、次世代に受け継ぎ残す活動を展開して行きたいと思っております。

ご協力頂きました皆さん本当にありがとうございました。



令和5年度 地域教育力向上プロジェクト推進事業 【公民館及び地域事業】

講座名	実施時期	主な内容
別子校区秋季大運動会	9月10日	学校と地域が一体となって運動会を実施し、住民の体力の向上と連帯感の育成を行い、地域内外との人的交流を図ることを目的に実施する。
登山体験	10月	地域内外で働く住民を対象に、自然を体感し、健全な心と身体を養うことを目的に、登山を実施し、心身のリフレッシュを行う。
植物自然観察学習会	10月	園芸研究所長を講師に高知県立牧野植物園等を視察研修し、地元植物の保護育成に役立てる。
食文化の発掘継承 ・そば打ち体験	11月	地域内の食材を活かした食文化を発掘し新たな郷土料理の開発を行い、保存伝承に結び付ける。
三世代交流餅つき	12月24日	一時代を担って来られた皆さんと、これからの時代を担う若者たちとの交流の場としてお餅つきを行います。
化地 伝域 承文	①ぼた餅作り 5月26日 ②蒸しパン作り 6月19日 ③ようかん作り 1月	人口減少と高齢化により地域文化の伝承が難しくなっています。特に様々な昔ながらの食文化は、別子山地域の受け継ぐべき財産とされます。そんな事から作り方を再現し伝承する事が重要です。
各団体との共同事業		
魚つかみ大会	7月30日	別子山地域の自然に親しむ心を養う事を目的として始めましたが、長い間感染症の影響で休止しておりました。今年度は、4年ぶりに銅山川を利用して放流をした魚（アメゴ・マス）をつかみ合う自然ならではの事業を実施します。
別子校区産業文化祭	11月12日	産業の部では、各種農林産物の展示や販売会 文化の部では、個人の作品で未発表の絵画・写真・手芸品・創作品などの展示

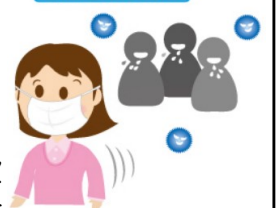
新型コロナウイルスが5類感染症に移行!!

5類感染症（感染力や重篤性などに基づく総合的な観点からみた危険性が最も低いとされるもの。）に移行した後も、感染の波は続く可能性があります。

◆地域住民の皆さんにお願いしたいこと◆

- ・5類移行後も感染の波は続く可能性がある為感染回避行動を織り込んだ生活様式が不可欠
⇒定期的な換気やこまめな手洗い、咳エチケット、3密回避、体調不良時の会食参加の見合わせ等「基本的な感染対策の日常化」
- ⇒「効果的な場面でのマスク着用」。特に医療機関や高齢者施設の訪問時には、マスク着用を含め「施設管理者が求める感染対策に協力を」
- ⇒「高齢者等の重症化リスクの高い方」は、特に感染状況に留意し、流行時には人混みを避け、マスクを着用するなど「必要な感染回避行動を」

人混みをさける



消毒



マスク



・別子山市民プール清掃作業実施予定・

日毎に夏を感じるようになってまいりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮した関係から、長期に渡りプールの使用は出来ませんでした。

今年度につきましては、現在の所使用についての制限はなく、開場出来る様になりましたので、プール使用に当り長年の様々な汚れを落としたいと思っております。

ご協力の程よろしくお願いいたします。

日時:令和5年6月11日(日)午前9時30分~

集合:別子山市民プール前

※必要と思われる清掃用具を出来る限りご持参ください
お願いいたします。

市営住宅入居者募集 (申込み)

市営住宅への入居者を次のとおり募集します。

■配布期間:令和5年6月1日(木)~令和5年6月19日(月)

■申込期間:令和5年6月5日(月)~令和5年6月19日(月)

※申込は窓口のみになります。(郵送、メール不可)

■募集团地:①南小松原、②桜木、③高津、④城下、⑤新田、
⑥新田第二、⑦北新町、⑧西の土居、⑨新須賀、
⑩西原、⑪治良丸、⑫横山南、⑬横山北、⑭松原

※詳細は館内掲示物、新居浜市営住宅管理グループ
ホームページ、市政だより、新居浜市営住宅管理
グループで配布している、市営住宅入居者募集要
領をご確認ください。

■申込条件:市営住宅入居者募集要領にてご確認ください。

■問合せ・申込先:新居浜市営住宅管理グループ

〒792-0025 新居浜市一宮町一丁目6番37号

横山ビル1階 ☎0897-47-5218

自分で行う災害への備え!!

台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

家の外の備え:大雨が降る前、風が強くなる前に行います。

- ・窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強する。
- ・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり家の中へ格納する

家の中の備え:非常用品の確認を行いましょ。

- ・懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯コンロ、貴重品など
- ・飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込み用にカーテンやブラインドをおろしておく。

避難場所の確認など:学校や公民館など、避難場所への避難経路を確認しておく。

- ・普段から家族で避難場所や連絡方法を話し合っておく
- ・避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。

非常持ち出し品を用意しましょう。 : 普段から持出用品をすぐに用意できるように準備しておきましょう。

移動図書館『青い鳥号』運行のお知らせ

移動図書館「青い鳥号」が今月も、別子山地区にやってきます。みなさん是非ご利用ください。

6月は、15日(木)に巡回します。

別子小中学校 13:00~14:00

※本を借りる場合は「図書館カード」が必要です。

※1人10冊まで借りる事ができます。

その他分からないことは、図書館員におたずねください。



新居浜市立図書館

Tel 0897-32-1911

主事補の独り言

別子山公民館の小山でございます。
今年は去年に比べて別子山の降雨量が増えていますよね!? 私でもわかるくらい雨ばかり1カ月早く梅雨入りしてしまったのではないかと思う今日この頃ですが皆様は如何お過ごしでしょうか。私は先日、久万高原町において素人でも気合と根性さえ続けば起業して成功できるという自伐型林業の講義を聞いてきました。世間ではウッドショックの影響で、おそらく国内産木材の自給率が上がっている影響か、通勤時に皆伐され山肌をあらわにした斜面を頻繁に見かけるようになりました。また、お付き合いのある「地域おこし協力隊」の方が任期を終えて林業に従事したことなどもあり関心のベクトルが林業へ向かったことが講習会参加の動機になったように思います。

我が国は先の大戦の後、拡大造林がなされ今では山林が国土の約67%を占めるまでになっていますが森林面積当りの就労者数は中欧(独・奥)の約1/10というのが現状のようです。

円安の為替相場、海上輸送運賃の大幅な増加は一時的なものかもしれませんが、今は豊富にある国内資源活用を改めて考える良い時期にきているのかもしれない。

自伐型林業は少人数、低コスト運営で新規就労がしやすい反面、生産量は低いようですが、見方を変えれば森(自然)への負担も少なく持続的森林経営ともいえるのではないのでしょうか、都会では出来ないのも、とても魅力的です。(おわり)

おかしな話



今年も、一段と季節変化が進んでいるように感じております。

皆様いかがお過ごしでしょうか?

この間まで、5月なのに昼間は真夏の気温で、日が沈むと肌寒く非常に寒暖差の激しいことで、身の引き締まる日々が続いております。そろそろ梅雨入りの時期を迎えましたが、季節変化の速さから見て梅雨入りも早い、そんな気がしてなりません。雨も降ってもらわなければいけません、本当に程々をお願いしたいものです。

さて、新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行し普通のインフルエンザと同等の扱いに代わりました。個人的には移行後もマスク着用や手洗いの徹底、消毒はまだ油断せず続けていこうと思います。長い間続いた習慣は、なかなか元には戻れませんが、安心・安全のためにも地道に続けることが大事と判断しております。

様々な事業活動も、これからですが、一昨年度はコロナ禍と言いつつも、後半は、食文化の伝承活動を開始し、「こんにゃく作り」や「豆腐作り」と次世代に継承していく活動を始めております。地域の大切な文化活動も語り継ぎ残す活動が無ければ消えてしまいます。これからも様々な地域文化を掘り起こし継承して参りたいと思っておりますので、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

寒暖差の激しいこの時期、皆様も油断せず体調管理には万全を期してお過ごしください。